

薬剤プレススルーパック包装体

[シース提供元：株式会社ヤマシタワークス]

活用企業イメージ

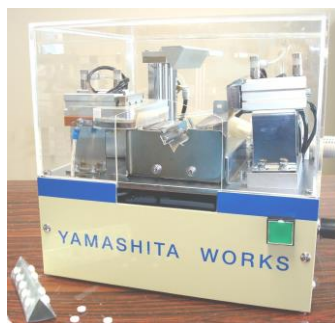
- ・ 医薬品を製造する企業→錠剤の立体 PTP シート製造。
- ・ 介護事業を営む企業→錠剤の立体 PTP シート製造・販売。
- ・ 食品事業を営む企業→食品の立体 PTP シート製造・販売。

技術内容

・ 錠剤を PTP シートから取り出さずそのまま飲み込む『誤飲事故』は高齢者を中心として、発生している。厚生労働省も注意喚起を行ってはいるが、なかなか具体的な解決には至らない。そこで PTP シートのポケットを外側に、三角形に成形し立体にすることで、シートを切り出さずに薬を服用できるようにした技術。

技術の特徴

- ・ シートを切り離さないで、誤飲の原因が無くなる。
- ・ 片手でも簡単に取り出せるデザイン。
- ・ 錠剤が散らばらず、取り落としが発生しづらい。
- ・ 手などに直接触れる事無く、直接口に落とし込める。
- ・ 従来の PTP シートとの差別化、商品としての付加価値。



開発の経緯

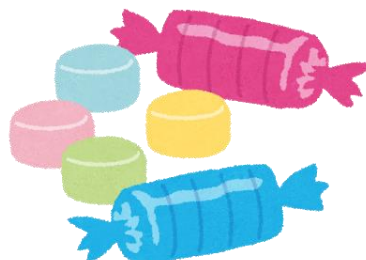
弊社社長が過去に薬を服用していて、従来の PTP シートは服用しづらいと感じ考案した。製薬業界向けへの金型事業も展開しているので、日頃から製薬業界は頭にあるため、開発を行うことができた。

活用例

薬品、サプリメント、菓子など様々なタブレット錠剤、カプセルなどに適用できる。



ガム



ラムネ菓子



薬



サプリメント

活用への補足・提供条件等

- ・現時点では、当社製品が市場に出てはいないが、2015年オーストリアのパッケージ会社である Constanthia Flexibles 社と特許ライセンス契約を結んでいる。製薬業界に留まらず、食品業界でも活用することができる。
- ・独占特許または販売ではなく、開放特許としてライセンス契約を結ぶことも可能としている。

特許情報

特許番号：特許第 4538531 号
 名称 プレススルーパック包装体
 権利の残存年数：10年（令和 11 年 10 月迄）
 特許番号：特許番号 4538530 号
 名称 薬剤プレススルーパック包装体と核包装体からの薬剤取出方法
 権利の残存年数：8年（令和 11 年 7 月迄）
 ※令和 3 年 6 月 1 日現在

その他関連情報

用語解説

PTP(Press Through Pack)シート

薬を包装する方法の1つで、錠剤をプラスチックとアルミで挟んだシート状のもの。プラスチック部分を強く押すことで、アルミが破け中の薬が1錠ずつ取り出される仕組みとなっている。